# 情　報　公　開　文　書

| | |
|---|---|
| 研究の名称 | 難治性疼痛及び慢性疼痛に対する学際的治療の多面的評価（多施設共同研究） |
| 整理番号 | R2015146 |
| 研究機関の名称 | 国立大学法人　富山大学<br>【共同研究機関】愛知医科大学、札幌医科大学、福島県立医科大学、東京大学、東京慈恵会医大、順天堂大学、大阪大学、岡山大学、高知大学、九州大学、滋賀医科大学、新潟大学、獨協医科大学、日本大学、三重大学、愛媛大学、山口大学、山形済生病院、佐賀大学 |
| 研究責任者 | 麻酔科学講座・助教・竹村佳記 |
| 研究の概要 | 【研究対象者】<br>富山大学附属病院及び共同研究施設における疼痛外来を受診する 10 歳以上の外来患者全般（ワクチン接種後の針刺しの痛みも含む）<br>【研究の目的・意義】<br>我が国における慢性痛及び難治性疼痛に対する集学的医療 の有効性と必要性を明らかにするために、現在日本で集学的医療を行っている 19 大学と 1 施設で協力して、難治性疼痛および慢性痛に対する集学的医療の介入効果を多面的に定量すること。<br>【研究の方法】<br>平成 24 年 6 月 1 日以降に難治性疼痛および慢性痛に対する集学的医療を実践している富山大学及び共同研究施設の疼痛外来を受診した患者を対象とする。従来の臨床診療で用いられている疼痛、健康関連 QOL、抑うつ、ADL 他に関する問診について、初診時および初診 3 ヵ月後に施行された結果を後ろ向きに比較検討する。なお、問診が理解できないまたは問診票への記載を拒否した患者は除外とする。問診票は、痛みのつよさの評価として簡易疼痛調査用紙(briefpain inventory : BPI)、痛みと活動性に関する評価として疼痛生活障害評価尺度<br>(Pain Disability Assessment Scale: PDAS)、心理的ストレス評価尺度として Hospital Anxiety and Depression Scale: HADS（日本語版)、痛みの影陛に関する評価として痛み破局化尺度(PainCatastrophizing Scale: PCS 日本語版）と痛み自己効力質問表 PainSelf-Efficacy Questionnaire: PSEQ、健康関連 QOL の指標として EuroQol-5D(EQ-5D) 日本語版、不眠評価としてアテネ不眠尺度、家族に及ぼす影響として Zarit 介護負担尺度、医療保険点数、運動機能評価としてロコモ 25 などを用いる。各施設で取得し得たデータは匿名化の後に、愛知医科大学学際的痛みセンターに集約して分析を行う。<br>【研究期間】<br>2016 年 2 月 16 日～2022 年 3 月 31 日<br>【研究結果の公表の方法】<br>個人情報の開示請求等は、本学の個人情報の保護に関する規程に従って適切に対応いたします。詳細は本学のホームージ(http://www.u-toyama.ac.jp/)、また、診療情報の開示等に関しては附属病院のホームページ(http://www.hosp.u-toyama.ac.jp/))をご覧ください。 |
| 研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無） | 【診療目的で取得・保有する診療情報】<br>外来初診時および初診 3 ヵ月後に施行された従来の臨床診療で用いられている疼痛、健康関連 QOL、抑うつ、AOL 他に関する問診記録（愛知医科大学学際的痛みセンターへ提出する予定） |
| 研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名 | 【研究主機関における研究責任者】<br>愛知医科大学病院 学際的痛みセンター・教授・牛田享宏 |

| | |
|---|---|
| 研究資料の開示 | 研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。 |
| 試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名） | 愛知医科大学病院 学際的痛みセンター・教授・牛田享宏 |
| 研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口 | 研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。<br>電話 076-434-7377<br>FAX 076-434-5040<br>E-mail tkmrysnr@med.u-toyama.ac.jp<br>担当者所属・氏名 富山大学麻酔科学講座・竹村佳記 |